

## 拡大教授会

### ○ 報告事項

1. 総務委員会報告
2. 研究科長・学部長・研究所長合同会議等報告（総A1号）（総B2号）
3. 全学環境安全管理室等会議・事故災害報告（総B3号）（総B4号）
4. 各委員会報告（経B1号）（教B7号）「高校生と大学生のための金曜特別講座」
5. その他
  - ・ホームカミングデイについて
  - ・役職者の交代等について（総B5号）

### ○ 議題

1. 東京大学大学院総合文化研究科・教養学部の教員の任期に関する規則の一部改正（総A2号）
2. 東京大学大学院総合文化研究科に置かれる講座の組織を定める内規の一部改正（総A3号）
3. 東京大学における教員の任期に関する規則の一部改正（総A4号）
4. 東京大学大学院総合文化研究科・教養学部の教員の任期に関する規則の一部改正（総B6号）
5. 東京大学における教員の任期に関する規則の一部改正（総B7号）
6. 東京大学大学院総合文化研究科・教養学部建設委員会規則の一部改正（経B2号）
7. 2023年度授業日程について（教B8号）
8. 東京大学とボン大学との学術交流協定の更新について（教B1号）

## 教授会

### ○ 教員人事

講	師	報	告	1件
准	教	提	案	2件
		報	告	4件
教	授	報	告	1件

委員会関係

教務委員会

財務委員会

教育研究経費委員会

・第2回教育支援経費の申請について（経B1号）

情報基盤委員会

入試委員会

教養教育評価委員会

学生委員会

三鷹国際学生宿舎  
運営委員会

図書委員会

前期運営委員会

後期運営委員会

・令和4年度教養学部卒業生数(令和4年8月31日付)（教B7号）

建設委員会

環境委員会

防災委員  
その他

社会連携委員会

・2022年度Aセメスター「高校生と大学生のための金曜特別講座」  
について

## 拡大教授会および教授会議事要旨(案)

日時 2022年7月21日(木) 15:30~18:28  
場所 Zoom会議  
出席者 245名

### 議題

#### ○ 報告事項

##### 1. 総務委員会報告

研究科長から、7月7日、7月21日開催の総務委員会について説明・報告があった。

##### 2. 研究科長・学部長・研究所長合同会議等報告

研究科長から6月28日、7月5日開催の研究科長・学部長・研究所長合同会議について、資料(総A1号)(総A2号)に基づき説明・報告があった。

##### 3. 全学環境安全管理室等会議・事故災害報告

環境安全管理室道上達男室長から、資料(総B2号)に基づき報告があった。

##### 4. 各委員会報告

- ・柳原大教務委員会委員長から、2022年度Sセメスター(S2ターム)追試験の実施について、資料(教B1号)に基づき報告があった。
- ・柳原大教務委員会委員長から、Sセメスター・S2ターム定期試験監督および成績報告等について、報告があった。
- ・工藤和俊教育研究経費委員会委員長から、2022年度第1回教育支援経費配分案について、資料(経B1号)に基づき報告があった。

##### 5. その他

- ・真船副研究科長から、情報セキュリティ教育の実施について、資料(総B3号)に基づき説明があった。
- ・真船副研究科長から、1号館改修に伴う講義棟新営工事について、資料(経B4号)に基づき説明があった。
- ・真船副研究科長及び石田駒場図書館長から、「新駒場図書館計画—学際知の未来のために」について、資料(経B5号)に基づき説明があった。
- ・真船副研究科長から、東京大学基金特定基金(寄附)の設置について、説明があった。
- ・内田研究科長補佐から、2022年駒場Iキャンパス節電のお願いについて、資料(経B6号)に基づき説明があった。
- ・内田研究科長補佐から、2022年防災訓練について、資料(経B7号)に基づき説明があった。
- ・星埜守之教授から、教養教育高度化機構「アクティブラーニングニュースレター」の発行について、説明があった。

広域システム科学系馬場雪乃准教授から、7月1日付着任挨拶があった。

#### ○ 審議事項

##### 1. 東京大学大学院総合文化研究科長選考内規の一部改正について

本吉勇研究科長候補者推薦委員会委員長から、資料(総B4号)に基づき説明がなされ、審議の結果、了承された。

##### 2. 東京大学大学院総合文化研究科副研究科長選考内規の一部改正について

研究科長から、資料(総B5号)に基づき説明がなされ、審議の結果、一部文言を修正することとして了承された。

##### 3. 東京大学教養学部組織規則の一部改正について

月脚副研究科長から、資料(総B6号)に基づき説明がなされ、審議の結果、了承された。

以下、教授会構成員対象の議題です。

1. 教員人事（総務委員会で提議された事案について）

総務委員会で提議のあった懲戒事案に関し、総務委員会としての議論を経た上で、それを踏まえた説明と提案が研究科長からなされ、質疑応答と審議の結果、了承された。

2. 教員人事

退職転出等	講 師	1 件
講 師	提 案	2 件
准 教 授	提 案	1 件
	報 告	1 1 件
教 授	報 告	1 3 件

計 2 8 件

以上

## 議題及び資料

- 
- |    |       |    |
|----|-------|----|
| 01 | 学内外情勢 | 総長 |
|----|-------|----|
- (資料1) 学内外情勢
- 
- |    |                          |       |
|----|--------------------------|-------|
| 02 | 広報・コミュニケーション活動報告<br>* 報告 | 武田執行役 |
|----|--------------------------|-------|
- (資料2) 広報・コミュニケーション活動
- 
- |    |                          |      |
|----|--------------------------|------|
| 03 | 指定国立大学法人構想調書の見直し<br>* 審議 | 相原理事 |
|----|--------------------------|------|
- (資料3) 3-1:東京大学指定国立大学法人構想の概要(第2版)、3-2:東京大学指定国立大学法人構想調書(第2版)、3-3:東京大学指定国立大学法人構想工程表(第2版)
- 
- |    |   |     |
|----|---|-----|
| 04 | ウクライナ侵攻を受けた「学生・研究者の特別受入れプログラム」の対応状況報告<br>* 報告 | 林理事 |
|----|---|-----|
- (資料4) ウクライナ情勢を受けた学生・教職員等に対する支援検討のための本部における体制
- 
- |    |                     |              |
|----|---------------------|--------------|
| 05 | 令和3年度監事監査報告<br>* 報告 | 吉田監事<br>棚橋監事 |
|----|---------------------|--------------|
- (資料5) 令和3年度監事監査報告書(学内限り)
- 
- |    |  |     |
|----|--|-----|
| 06 | 2022年度後期ワーク・ライフ・バランス支援のための研究者サポート要員配置助成の実施<br>* 報告 | 林理事 |
|----|--|-----|
- (資料6) 6-1:2022年度後期ワーク・ライフ・バランス支援のための研究者サポート要員配置助成の実施について、6-2:2022年度後期研究者サポート要員配置助成事業
- 
- |    |   |     |
|----|---|-----|
| 07 | 役員・部局長・管理職層等へのダイバーシティ&インクルージョン意識啓発セミナーの開催<br>* 報告 | 林理事 |
|----|---|-----|
- (資料7) 2022年度役員・部局長・管理職層等へのダイバーシティ&インクルージョン意識啓発セミナーについて
- 
- |    |   |     |
|----|---|-----|
| 08 | 東京大学ダイバーシティ&インクルージョン宣言制定に際しての意見報告<br>* 報告 | 林理事 |
|----|---|-----|
- (資料8) 「東京大学ダイバーシティ&インクルージョン宣言」制定に際しての学内意見募集について(報告)
- 
- |    |                      |      |
|----|----------------------|------|
| 09 | 令和4年度科研費採択状況<br>* 報告 | 齊藤理事 |
|----|----------------------|------|
- (資料9) 令和4(2022)年度科研費採択状況(学内限り)
- 
- |    |                                 |      |
|----|---------------------------------|------|
| 10 | 競争的研究費応募時におけるe-Rad上の手続き<br>* 報告 | 齊藤理事 |
|----|---------------------------------|------|
- (資料10) 競争的研究費応募時におけるe-Rad上の手続きについて
- 
- |    |  |      |
|----|--|------|
| 11 | 「令和3年度の部局における研究倫理教育等及び不正防止等に関する取組状況」及び「研究活動における不正行為の防止の徹底」<br>* 報告 | 藤垣理事 |
|----|--|------|
- (資料11) 「令和3年度の部局における研究倫理教育等及び不正防止等に関する取組状況」及び「研究活動における不正行為の防止の徹底」について
- 
- |    |                           |      |
|----|---------------------------|------|
| 12 | コンプライアンス基本規則の周知徹底<br>* 報告 | 今泉理事 |
|----|---------------------------|------|
- (資料12) 12-1:東京大学コンプライアンス基本規則リーフレット、12-2:東京大学コンプライアンス基本規則に関するQ&A、12-3:本学の全教職員等を対象とするコンプライアンス教育の実施について(依頼)
- 
- |    |                                   |      |
|----|-----------------------------------|------|
| 13 | 夏季休暇中における情報セキュリティに関する注意喚起<br>* 報告 | 今泉理事 |
|----|-----------------------------------|------|
- (資料13) 夏季休暇中における情報セキュリティに関する注意喚起について(学内限り)
- 
- |    |                                    |       |
|----|------------------------------------|-------|
| 14 | 高校生のための東京大学オープンキャンパス2022開催<br>* 報告 | 津田執行役 |
|----|------------------------------------|-------|
- (資料14) 高校生のための東京大学オープンキャンパス2022オ~~5~~ライン開催について
-

## 議題及び資料

---

- 15 2022年度・第2期東京大学ニューヨークオフィス(UTokyoNY)イベント募集 **津田執行役**  
**\* 報告**  
(資料15)2022年度・第2期東京大学ニューヨークオフィス(UTokyoNY)イベント募集要項
- 
- 16 UTokyoブランド調査実施のご協力のお願ひ **武田執行役**  
**\* 報告**  
(資料16)UTokyoブランド調査の実施について
- 
- 17 寄付講座、社会連携講座及び国立研究開発法人連携講座等の設置等 **齊藤理事**  
**\* 報告**  
(資料17)寄付講座、社会連携講座及び国立研究開発法人連携講座等の設置等
-

令和4年09月06日(火) 15:00～

## 議題及び資料

01 学内外情勢	総長
(資料1) 学内外情勢	
02 東京大学教養学部組織規則の一部改正 * 審議	大久保理事
(資料2) 東京大学教養学部組織規則の一部を改正する規則(案)	
03 東京大学利益相反マネジメント委員会規則の一部改正 * 審議	大澤執行役
(資料3) 東京大学利益相反マネジメント委員会規則の一部を改正する規則(案)	
04 東京大学における教員の任期に関する規則の一部改正 * 審議	齊藤理事
(資料4) 東京大学における教員の任期に関する規則の一部を改正する規則(案)	
05 2022年度人事マネジメント支援プログラムの実施 * 報告	林理事
(資料5) 5-1:女性人事加速サポート2022年度人事マネジメント支援プログラム(申請要領)、5-2:(参考資料)人件費等支援制度について	
06 2022年度女性教員(教授・准教授)増加のための加速プログラム採択部局の決定 * 報告	林理事
(資料6) 2022年度「女性教員(教授・准教授)増加のための加速プログラム」採択部局の決定	
07 障害者の雇用状況 * 報告	今泉理事
(資料7) 障害者の雇用状況について(2022年6月1日現在)	
08 令和4年度東京大学稷門賞 * 報告	相原理事
(資料8) 令和4年度「東京大学稷門賞」受賞者について	
09 高校生のための東京大学オープンキャンパス2022実施報告 * 報告	津田執行役
(資料9) 「高校生のための東京大学オープンキャンパス2022」(オンライン)実施報告	
10 東京大学伊藤国際学術研究センターの使用に関する内規の一部改正 * 報告	津田執行役
(資料10) 東京大学伊藤国際学術研究センターの使用に関する内規の一部改正について	
11 その他	今泉理事
(1) 国における給与制度等の動向	
(資料11) 給与勧告の骨子、公務員人事管理に関する報告の骨子	
(2) 令和4年度東京大学秋季式典	大久保理事
(資料12) 令和4年度東京大学秋季式典	
(3) 東京大学公開講座	津田執行役
(資料13) 第134回(2022年春季)東京大学公開講座実施報告	
(4) 令和4年度研究倫理セミナーの開催	藤垣理事
(資料14) 研究倫理セミナー	
(5) 「未来の学術振興構想」の策定に向けた「学術の中長期研究戦略」の公募	齊藤理事
(資料15) 「未来の学術振興構想」の策定に向けた「学術の中長期研究戦略」の公募について(通知)	

## 2022年8月全学環境安全管理室等会議・事故災害報告(要約)

## ・休業4日未満

- 22075M** 用務補佐員(男性:30歳);清掃作業後、眩暈と頭痛がしたので更衣室で休んでから退勤したところ、自宅マンション前で気分が悪くなり、救急搬送。熱中症と診断された。(休業2日)
- 22077M** 用務補佐員(男性:22歳);屋外でプランターに散水していたところ、体調が悪くなり、救急搬送。熱中症と診断された。(休業1日)
- 22083M** 教授(女性:56歳);(構外)建物から路上に出たところ、歩道段差に躓いて転倒し、右足首を骨折した。(休業1日)
- 22084M** 准教授(男性:46歳);授業で学生を相手にバドミントンをしていたところ、シャトルを拾おうとダッシュした際に、左ふくらはぎを痛めた(肉離れ)。(休業3日)

## ・不休業事故・災害

- 22050F** 技術職員(男性:26歳);鎌を使用して草刈りをしているときに、右手の鎌に勢いがつき、草を持っていた左手(小指)を切った。
- 22067F** 看護師(女性:23歳)患者の対応をしていた際に、扉の丁番に手を置いてしまい、扉が閉まった際に指を挟まれた。
- 22068F** 学部3年(男性:21歳);熱したるつぼを実験台の上に置いていたところ、これに触れてしまい、右手中指を火傷した。
- 22069F** 研究員等(男性:24歳);患畜(犬)を処置台から降ろすために抱きかかえようとしたところ、興奮した犬に右手の甲を噛まれた。
- 22072F** D2 院生(男性:29歳);海洋生物の採集のために素潜りを行っていたところ、クラゲに右耳を刺された。
- 22073F** M1 院生(女性:23歳);使用後の注射器を安全に廃棄するため、針にキャップをしようとしたが、針を斜めに挿入したまま無理やり押し込んだため、針がキャップを貫通し、左手人差し指に刺さった。
- 22082F** M1 院生(男性:23歳);蒸留操作のためにガラス器具の組み立てを行っていたところ、ガラス器具同士を密着させようと力を加えた際にシュレンクフラスコの分岐部が破損し、右手拇指に切創を負った。
- 22085F** 助教(男性:44歳);建物屋上でキイロスズメバチに左肩を刺された。

## ・通勤災害

- 22076J** 事務職員(女性:30歳);出勤時、坂を上っていたところ、立ち眩みして転倒、右足首を捻挫した。
- 22079J** 技術職員(女性:47歳);出勤時、前方から疾走してきた人と接触したため、バランスを崩し左足を捻挫した。

## ・その他

- 22061S** 雇用外研究員等(女性:29歳);寮の門限に間に合うよう急いで帰宅していたところ、駅の階段で右足をひねり捻挫した。

## ・人的被害なし、設備災害のみ

- 22086Ns** 地下の実験室にあった超純水製造装置からの漏水により、エレベーターシャフトに大量に水が流れ込こんだ。冠水管制機能が作動し、エレベーターが数日間使用できなくなった。

## ・人的被害なし、設備災害でない機器・施設損傷あり

- 22065Nd** 坑道内にて、移動用の電気車両を転回していたところ、壁に車両左前部を擦った。
- 22066Nd** 駐車場から車を発車した際に、駐車スペースからはみ出して駐車していた隣の車に接触し車体を傷つけた。
- 22070Nd** 苗置台に置いてあったヘルメットに気づかず、苗の自動移植機を動作させたところ、機体に挟み

込まれたヘルメットが破損した。

**22071Nd** ロータリーを装着したトラクターを後退させていた際に、車両止めのポールにロータリーが接触し、ロータリーとポールの塗装がはがれた。

・ 人的被害なし、設備災害でない有害物（臭）流出あり

**22074Ni** 廃液タンクを台車に載せて運んでいたところ、路面の段差でバランスが崩れ、タンクが転落。蓋がゆるんでいたため、廃液が路面に漏れた。

**22081Ni** レギュレーター故障で、二酸化炭素ボンベに接続していたシリコン製チューブ内のガス圧が上昇。チューブが破裂し、二酸化炭素が実験室内に漏れた。

**22087Ni** 蓋がしっかりしていなかったホルマリン液入りボトルを倒してしまったため、ホルマリン液が流れ出た。

**22088Ni** 薬品庫に保管してあったブタノールの一斗缶底部の腐食により、ブタノールが漏れた。

以上 教養学部等環境安全管理室

## 2022年9月全学環境安全管理室等会議・事故災害報告(要約)

## ・休業4日以上

- 22095I** 看護師(女性:50歳);台に乗って物品補充作業中に、意識が遠のき後方に倒れた。(休業37日)
- 22105I** 学術専門職員(女性:73歳);帰宅時、建物前の(雨で湿っていた)ウッドデッキを通行中に転倒して、右足を骨折した。(休業14日)
- 22121I** 研究員等(男性:30歳);木製パレットを移動させていたところ、パレットが傾き、その上に置いてあったスクレーパーが滑り落ちて足に刺さった。(休業5日)

## ・休業4日未満

- 22091M** M2院生(女性:23歳);一酸化炭素(CO)を含有したガスを使用した後、気分が悪くなった。救急病院での受診ではCO中毒でないと診断された。  
(休業1日)
- 22098M** 技能補佐員(女性:43歳);森林内で測定作業をしていた際に、左耳を虫に刺された。(休業2日)

## ・不休業事故・災害

- 22058F** 学部3年(男性:20歳);製作実習での旋盤加工後に、面取りしていないアルミ合金の工作物に触れたところ、右手人差し指を切った。
- 22092F** M1院生(男性:22歳);定規を使ってカッターで段ボールを切っていたところ、定規を押さえていた右手が滑り、カッターで右手人差し指を切った。
- 22093F** M2院生(男性:24歳);装置に液体ヘリウムを注入する作業中、ヘリウム貯蔵容器からトランスファーチューブを引き上げたところ差込口がはずれ、容器から低温ヘリウムガスが噴出。咄嗟に素手で対応しようとして左手に凍傷を負った。
- 22094F** 事務職員(女性:52歳)大学敷地内のコンクリート舗装欠損箇所ですり足で右足を捻り、足首を剥離骨折した。
- 22096F** 技術専門職員(男性:36歳);車庫のハチの営巣に気づかずシャッターを下ろしたところ、ハチに右耳付近を刺された。
- 22099F** 学部3年(男女);野外実習中に1列で林内の歩道を歩いていたところ、(24名中)10名がミツバチに刺された。
- 22100F** 技術職員(男性:34歳);除草作業中に、あごをハチに刺された。
- 22101F** 特任専門職員(男性:60歳);人工林で収穫調査をしていた際に、腕をハチに刺された。
- 22103F** 学部3年(男性:22歳);糖度を測るためモモを包丁で切ろうとした際に、種まで上から半分ほど切ろうとして力を入れたところ、手がすべって左手親指に裂傷を負った。
- 22106F** M1院生(男性:22歳);実験でチューブに入れたフェノール・クロロホルム含有溶液を混ぜた際に液が漏れ、実験卓上に付着した溶液で肘に化学熱傷を負った。
- 22107F** 学部1年(男性:18歳);実験手袋を落として拾おうとした際、目の前の実験機の角に額をぶつけ、額に裂傷を負った。
- 22108F** 助教(男性:33歳);屋内運動場でフットサル(実習講義)を行っていたところ、無理な姿勢で体重が膝にかかったため左膝関節を骨折した。
- 22110F** 技術職員(男性:38歳);造林地で下刈り作業をしていたところ、左手薬指をハチに刺された。
- 22112F** 特任准教授(女性:58歳);ガラス切片の入ったケースを開ける際に、カッターで左手親指を切った。
- 22113F** 看護師(女性:22歳);患者の体位交換のため、2名で患者を持ち上げた際に、腰を痛めた。
- 22115F** 学術専門職員(女性:63歳);出勤時、居室のある建物前の石畳の歩道が盛り上がっている場所で躓いて転倒し、右手を骨折した。
- 22118F** 学部3年(男性:20歳:2名);ドローンの調整を行おうとした際に手順を誤り、プロペラが最大出力で回転したため切り傷を負った。
- 22120F** M2院生(男性:24歳);ドラフトの故障に気づかず悪臭が発生する作業をしていたところ、臭気が廊下にまで漏出。(通りがかりに)それをかいだ被災者が気分が悪くなり嘔吐した。

**22124F** 学部4年(男性:21歳);腰を曲げた姿勢でマウスの給餌、給水を実施していたところ、ぎっくり腰になった。

**22128F** M2 院生(男性:24歳);ガラス製試薬瓶の保存していた寒天培地を電子レンジで温めたあとウォーターバスの水につけて冷却したところ、試薬瓶が破裂し、飛散したガラス片で腕に切傷を負った。

#### ・通勤災害

**22104J** 事務補佐員(女性:62歳);出勤時、自宅マンションの正面玄関のタイルの目地にヒールがひっかかり転倒。左手首を骨折した。

**22109J** 学術専門職員(女性:50歳);出勤時、駅構内通路で躓いて転倒し、左手に切創を負った。(休業2日)

**22116J** 事務職員(男性:55歳);通勤時、歩道で信号待ちをしていたところ左折してきたトラックのサイドミラーが顔に当たり、転倒した。(休業1日)

**22125J** 専門職員(女性:30歳);出勤時、自宅マンションの階段を踏み外して転倒し、右足首を捻挫した。

**22126J** 事務職員(男性:58歳);出勤時、最寄り駅へ歩いていたら、後方から来た乗用車のドアミラーが右肘に当たった。

#### ・その他

**22102S** 外来研究員(男性:53歳);駅で急いで電車に乗ろうとして階段を踏み外し、左膝をひねり捻挫した。

#### ・人的被害なし、設備災害のみ

**22117Ns** 搬出作業を行っていた作業員3名が、エレベーターの緊急停止により閉じ込められた。

#### ・人的被害なし、設備災害でない小火

**22080Nf** 警備員室で発火し、シーツや布団等が燃えた(原因不明)。

#### ・人的被害なし、設備災害でない機器・施設損傷あり

**21273Nd** 大学敷地内の森林で無人航空機を飛行させていたところ、異常が発生し森林に墜落した(事故原因不明)。

**22097Nd** 敷地内で車を運転中、後続車を先に行かせるため車体を左側に寄せた際に、左側面をガードレールで擦った。

**22114Nd** 超純粋製造装置のプラスチック配管の破損のために漏水が発生した。

**22119Nd** 冷凍機を冷却するための水を流していたところ、ホースが外れて漏水した。

**22122Nd** 冷凍庫から異音と異臭がしたため確認したところ、配線の樹脂被覆部の一部が融解、活線の一部が断裂していた。

以上 教養学部等環境安全管理室

事務連絡  
令和4年9月15日

各学科長  
各前期部主任 殿

総合文化研究科・教養学部長

(案)

教育支援経費の要求について (照会)

このことについて、要求のある場合には下記を参照に要求書の提出を願います。  
また、財源状況は大変厳しいものとなっているため、要求にあたっては、内容・緊急性等を考慮のうえ、厳選して提出願います。

記

1. 提出期限

教育支援経費

第1回 令和4年7月1日(金) ※ヒアリング実施日：7月14日(木)

第2回 令和4年10月31日(月) ※ヒアリング実施日：日程調整中

2. 提出書類

令和4年度教育支援経費要求書及び見積書並びにカタログ等

3. 要求区分

**主に学部学生の教育に資することを目的とし、申請額は2,000千円以下とする。**

4. 提出先等

経理課財務チーム 内線46025

5. その他

- ① 要求書は、**学科長、部会主任名**で提出してください。
- ② **1部会、1学科から1要求**とさせていただきますことにご留意ください。
- ③ 教育支援経費は、教育研究経費委員会によるヒアリングを実施します。  
なお、学科及び前期部会以外からの要求は、上記目的に資することを担保するため、**学科あるいは前期部会との合同要求の場合のみ**ヒアリング対象とします。
- ④ 第2回 教育支援経費 ヒアリングの時間は申請者に**11月2日以降**に別途連絡します。  
ヒアリングについては、Zoom等Web会議ツールの使用を検討しております。
- ⑤ 予算配分を受けた場合は、**事業実施完了時に決算報告書**(別紙様式)を提出すること。
- ⑥ 恒常的に支援が必要となるものは、教育支援経費の対象としません。

## 教育支援経費の申請にあたって

教育支援経費は、学部学生の教育の充実・強化を図る取組みを支援することを目的としています。財源状況が大変厳しい中、申請にあたっては、**①授業・実験・実習を遂行する上で、突発的な問題が生じ、問題が解消されないとそれらを遂行することができない②新規の授業や実験項目の開設のために必要なもの③改善することで教育の充実・強化を図ることが確実に見込まれるもの**などに関して、授業への関連性、要求内容・緊急性等を精査したうえでご提出願います。

なお、直接授業内容に関連するものであっても恒常的に予算措置が必要となるものについては、当初予算配分で検討すべきものであり、本経費では支援ができませんので、別途、財務チームに相談願います。

### 【過去に申請された内容のうち、疑義が生じた事例】

- 授業・コース・部会などのアナウンス又は宣伝等については、学部学生の教育の充実・強化を図る取組み点から**発展性がある**ことが必要です。授業内容との直接的な関連が薄く、教育の充実・強化のために必要であることの説明が不十分なものは、支援の対象外としました。
- 実験用消耗品、書籍、パンフレット・教材等の印刷費、授業の範囲で行っている学生旅費及び引率旅費等の経費については、学部学生の教育の充実・強化を図る取組みの一貫であり、**恒常的に必要なものでなく、緊急かつ臨時的**であることが必要です。恒常的な経費と判断したものについては、本支援の趣旨に合致しないため、支援の対象外としました。
- 教材開発については、学部学生の教育の充実・強化を図る取組みの点で**既存教材の刷新や新規に開講する授業等で、担当教員が自ら作成することが難しいものである**ことが必要です。担当教員によって作成することが可能なものや視認性の向上等に重点を置いた申請は、要求母体の自助努力を前提とし、学部学生の教育の充実・強化を図る支援の対象外としました。
- HP 更新、授業及び実験説明の資料作成については、要求母体の自助努力を前提としたうえで、申請にあたっては、学部学生の教育の充実・強化を図る取組みの点で改善することで具体的に教育の充実・強化が見込まれ、**かつ担当教員では作成が難しいものである**ことが必要です。学生への周知の向上や単に授業の効率化に重点を置いた申請は、学部学生の教育の充実・強化を図る支援の対象外としました。

令和4年度教養学部卒業生数  
(令和4年8月31日付)

学科・コース名	総数 19 卒業生数
教養学科	13
国際日本研究コース	13
学際科学科	6
国際環境学コース	6



東京大学  
THE UNIVERSITY OF TOKYO



# 高校生と大学生のための 金曜特別講座

2022年度冬学期  
(Aセメスター)

連絡先：  
「高校生と大学生のための金曜特別講座」事務局  
〒153-8902 東京都目黒区駒場 3-8-1  
電話 080-3254-4016  
high-school@komex.c.u-tokyo.ac.jp  
http://high-school.c.u-tokyo.ac.jp/

主催：東京大学教養学部  
共催：東京大学生産技術研究所  
協賛：一般社団法人 東大駒場友の会

東京大学 大学院総合文化研究科・教養学部  
The University of Tokyo, Komaba  
Graduate School of Arts and Sciences, College of Arts and Sciences

- |             |   |
|-------------|---|
| 10/7 (金)    | <b>次世代のコンクリート</b> ~植物性コンクリートから宇宙での建設まで~         |
| 17:30-19:00 | 酒井 雄也 東京大学 生産技術研究所・准教授                          |
| 10/14 (金)   | <b>ゲートと医学 文学研究からの科学史アプローチ</b>                   |
| 17:30-19:00 | 石原 あえか 東京大学 教養学部 教養学科・教授                        |
| 10/21 (金)   | <b>人口問題の数学</b>                                  |
| 17:30-19:00 | 稲葉 寿 東京大学 理学部 数学科・教授                            |
| 10/28 (金)   | <b>古代ギリシア哲学を学ぶ意義</b>                            |
| 17:30-19:00 | 納富 信留 東京大学 文学部 人文学科 哲学専修課程・教授                   |
| 11/4 (金)    | <b>量子の世界のフレミングの法則：ホール効果の物理</b>                  |
| 17:30-19:00 | 塩見 雄毅 東京大学 教養学部 統合自然科学科・准教授                     |
| 11/11 (金)   | <b>物語の〈裏〉を読む —「山月記」「舞姫」って、ほんととは全然違う話かも?</b>     |
| 17:30-19:00 | 出口 智之 東京大学 教養学部 教養学科・准教授                        |
| 11/25 (金)   | <b>気候モデルで探る過去現在未来の地球環境</b>                      |
| 17:30-19:00 | 阿部 彩子 東京大学 大気海洋研究所・教授                           |
| 12/2 (金)    | <b>経済学の功罪</b>                                   |
| 17:30-19:00 | 高見 典和 東京大学 教養学部 教養学科・准教授                        |
| 12/9 (金)    | <b>フランスのライシテとは何か</b>                            |
| 17:30-19:00 | 伊達 聖伸 東京大学 教養学部 教養学科・教授                         |
| 1/20 (金)    | <b>人間と人工知能の協働</b>                               |
| 17:30-19:00 | 馬場 雪乃 東京大学 教養学部 学際科学科・准教授                       |
| 1/27 (金)    | <b>「生きている状態」をどのように理解するか?</b><br>~理論と実験からのアプローチ~ |
| 17:30-19:00 | 古澤 力 東京大学 理学部 物理学科・教授                           |
| 2/3 (金)     | <b>イラストで英語 (の教科書) がもっと好きになる?!</b>               |
| 17:30-19:00 | 寺田 寅彦 東京大学 教養学部 教養学科・教授                         |
| 2/10 (金)    | <b>バイオマシンのカラクリ</b>                              |
| 17:30-19:00 | 矢島 潤一郎 東京大学 教養学部 統合自然科学科・准教授                    |

ウイルス感染防止のため、**オンラインで配信**します。  
金曜講座ウェブサイトに記載の方法でお申込みください。  
配信希望の高校・大学は、左記までメールでご連絡ください。  
予定が変更になる場合がございます。HPで最新情報をご確認ください。



## 第21回ホームカミングデイ

Home Comming Day

東京大学のホームカミングデイは毎年10月第三土曜日に開催しています。本学の卒業生や修了生をはじめ、そのご家族、東大ファン、近隣の方々がキャンパスに集う1日です。新型コロナ感染状況の影響から、2020年～2021年は全面オンライン開催といたしましたが、2022年10月15日の「第21回東京大学ホームカミングデイ」は「対面」「ライブ配信」「オンデマンド」と、複数の形式で開催することにいたしました。多様な形でお楽しみいただけるプログラムを各種ご用意しています。皆さまのご参加をお待ちしております。

※新型コロナ感染の影響によりプログラムを変更する場合があります。

### キャンパス(対面)で参加

「定員制で要事前申込み」「定員はないが要事前申込み」「申込み不要」のプログラムに分かれています。



### ライブをオンラインで視聴

キャンパス内で開催するプログラムを、リアルタイムで中継します。



### オンデマンドをオンラインで視聴

「事前収録」もしくは「リアルタイム配信をアーカイブ化」したプログラムを、一定期間視聴できます。



2022/10/01現在

2022年度 研究科長室、専攻長・系長、図書館長、機構長、センター長等

	研究科長・学部長 (2021.4.1～2023.3.31)	地域文化研究専攻	森山 工
(選挙)	副研究科長・副学部長 (2022.4.1～2024.3.31)	言語情報科学専攻	月脚 達彦
(選挙)	副研究科長・副学部長 (2021.4.1～2023.3.31)	関連基礎科学系	真船 文隆
(指名)	副研究科長・副学部長 (2022.4.1～2023.3.31)	超域文化科学専攻	清水 晶子
(指名)	副研究科長・副学部長 (2022.4.1～2023.3.31)	生命環境科学系	和田 元
	副研究科長・副学部長	事務部長	小寺 孝幸
(指名)	総長補佐 (2022.4.1～2023.3.31)	言語情報科学専攻	郷原 佳以
(委嘱)	研究科長補佐 (2022.10.1～2023.9.30)	超域文化科学専攻	田村 隆
(委嘱)	研究科長補佐 (2022.4.1～2023.3.31)	関連基礎科学系	内田 さやか
	研究科長特任補佐(IRデータ活用)	関連基礎科学系	池田 昌司
	研究科長特任補佐(教育先進化)	広域システム科学系	館 知宏
	研究科長特別顧問	平谷・八百屋法律事務所 弁護士	八百屋 伴声
	研究科長顧問(法務)	国際社会科学専攻	小粥 太郎
	研究科長顧問(国際広報)	グローバルコミュニケーション研究センター	トム・ガリー
	言語情報科学専攻長		小野 秀樹
	超域文化科学専攻長		箭内 匡
	地域文化研究専攻長		外村 大
	国際社会科学専攻長		遠藤 貢
	広域科学専攻長		瀬川 浩司
	生命環境科学系長		本吉 勇
	関連基礎科学系長		松田 恭幸
	広域システム科学系長		小宮 剛

東京大学大学院総合文化研究科・教養学部の教員の任期に関する規則の一部を改正する規則（案）

改正理由：既に導入している教員の任期制の教育研究組織等の見直し等を行うことに伴い、所要の改正を行うものである。

現 行					改 正				
(略)					(略)				
別表					別表				
部局名	専攻(施設)、講座 (部門)、分野等	対象となる職	任期	再任に関する事項	部局名	専攻(施設)、講座 (部門)、分野等	対象となる職	任期	再任に関する事項
大 学 院 総 合 文 化 研 究 科	(略)				(略)				
	広域科学専攻生命情報学講座発生細胞生物学分野	助 教	5 年	再任可。ただし、1 回限りとし、再任の場合の任期は 2 年とする。	広域科学専攻生命情報学講座発生細胞生物学分野	助 教	5 年	再任可。ただし、1 回限りとし、再任の場合の任期は 2 年とする。	
					<u>広域科学専攻生命情報学講座細胞生物物理学分野</u>	<u>助 教</u>	<u>5 年</u>	<u>再任可。ただし、1 回限りとし、再任の場合の任期は 1 年とする。</u>	
	(略)				(略)				
(略)				(略)					

附 則

この規則は、令和 4 年 1 2 月 1 日から施行し、同日以降に任命される者について適用する。

東京大学大学院総合文化研究科に置かれる講座の組織を定める内規の一部を改正する規則（案）

改正理由：分野の新設に伴い、所要の改正を行うものである。

現 行			改 正		
(略)			(略)		
第2条 講座に次に掲げる分野を置く。			第2条 講座に次に掲げる分野を置く。		
専攻名	講座名	分野	専攻名	講座名	分野
(略)			(略)		
広域科学専攻	(略)		広域科学専攻	(略)	
	生命情報学講座	(略)		生命情報学講座	(略)
		遺伝制御分野			遺伝制御分野
					細胞生物物理学分野
(略)		(略)			

附 則

この規則は、令和4年12月1日から施行する。

改正理由：大学院総合文化研究科において、既に導入している教員の任期制の教育研究組織等の見直しを行うことに伴い、所要の改正を行うものである。

現 行						改 正					
(略)						(略)					
別表						別表					
教育研究組織		対象となる職	任期	再任に関する事項	根拠規定	教育研究組織		対象となる職	任期	再任に関する事項	根拠規定
部局名	専攻、講座、研究部門等					部局名	専攻、講座、研究部門等				
(略)						(略)					
大学院総合文化研究科	(略)					大学院総合文化研究科	(略)				
	広域科学専攻生命情報学講座発 生細胞生物学分野	助 教	5 年	再任可。ただし、 1 回限りとし、再 任の場合の任期 は 2 年とする。	法第 4 条第 1 項第 1 号		広域科学専攻生命情報学講座発 生細胞生物学分野	助 教	5 年	再任可。ただし、 1 回限りとし、再 任の場合の任期 は 2 年とする。	法第 4 条第 1 項第 1 号
(略)						(略)					
(略)						(略)					
(略)						(略)					
(略)						(略)					
(略)						(略)					

附 則

この規則は、令和 4 年 1 2 月 1 日から施行し、同日以降に任命される者について適用する。

東京大学大学院総合文化研究科・教養学部の教員の任期に関する規則の一部を改正する規則（案）

改正理由：既に導入している教員の任期制の教育研究組織等の見直し等を行うことに伴い、所要の改正を行うものである。

現 行					改 正				
(略)					(略)				
別表					別表				
部局名	専攻(施設)、講座(部門)、分野等	対象となる職	任期	再任に関する事項	部局名	専攻(施設)、講座(部門)、分野等	対象となる職	任期	再任に関する事項
大学院総合文化研究科	(略)				(略)				
	広域科学専攻機能解析学講座物性物理学分野	助教	5年	再任可。ただし、2回限りとし、再任の場合の任期は1回目にあつては3年、2回目にあつては2年とする。	広域科学専攻機能解析学講座物性物理学分野	助教	5年	再任可。ただし、2回限りとし、再任の場合の任期は1回目にあつては3年、2回目にあつては2年とする。	
					広域科学専攻機能解析学講座物性物理学分野	助教	2年。ただし、令和6年9月30日を超えることはできない。	再任不可。	
	(略)				(略)				
(略)				(略)					

附 則

この規則は、令和4年12月1日から施行し、同日以降に任命される者について適用する。



東京大学大学院総合文化研究科・教養学部建設委員会規則の一部を改正する規則（案）

改正理由：委員会委員について、現状に合わせて名称修正等の所要の改正を行うものである。

現 行	改 正
<p style="text-align: center;">(略)</p> <p>(委員)</p> <p>第6条 委員は、次の各号に掲げる者とする。</p> <p>(1) 副研究科長（事務部長を含む） <u>2</u>名</p> <p>(2) 専攻（広域科学専攻を除く）及び系から選出された者 各1名</p> <p>(3) 後期課程学科から選出された者 1名</p> <p>(4) 駒場図書館長</p> <p>(5) 大学院総合文化研究科図書館長</p> <p>(6) 大学院数理科学研究科から選出された者 1名</p> <p>(7) <u>駒場キャンパス計画室長</u></p> <p>(8) その他委員会が必要と認める者 若干名</p> <p style="text-align: center;">(略)</p>	<p style="text-align: center;">(略)</p> <p>(委員)</p> <p>第6条 委員は、次の各号に掲げる者とする。</p> <p>(1) 副研究科長（事務部長を含む） <u>3</u>名</p> <p>(2) 専攻（広域科学専攻を除く）及び系から選出された者 各1名</p> <p>(3) 後期課程学科から選出された者 <u>各1</u>名</p> <p>(4) 駒場図書館長</p> <p>(5) 大学院総合文化研究科図書館長</p> <p>(6) 大学院数理科学研究科から選出された者 1名</p> <p>(7) <u>キャンパス計画室駒場地区部会長</u></p> <p>(8) その他委員会が必要と認める者 若干名</p> <p style="text-align: center;">(略)</p>

附 則

この規則は、令和4年 月 日から施行し、令和4年4月1日から適用する。

(案)

東京大学大学院総合文化研究科・教養学部建設委員会規則

平成16年4月1日制定

(設置)

第1条 東京大学大学院総合文化研究科組織規則第16条第2項及び東京大学教養学部組織規則第18条第2項に基づき、建設委員会（以下「委員会」という。）を置く。

(任務)

第2条 委員会は、研究科長の管理のもとに東京大学大学院総合文化研究科・教養学部（以下「研究科」という。）の教育研究活動にふさわしい環境を維持し、施設の整備と拡充を推進することにより、キャンパスの秩序ある発展を図ることを目的として、次の各号に掲げる任務を行う。

- (1) 用地の選定及び利用に関する長期基本計画の立案及び審議
- (2) キャンパスの利用計画及びその実施に関する立案及び審議
- (3) 個別施設の建設計画案の作成並びにこれに関する関係者との折衝及び意見調整
- (4) 個別施設建設についての事務的技術的作業方針の策定
- (5) その他、用地及び諸施設に関する重要事項の審議

(答申及び処理)

第3条 委員会で審議した事項は、研究科長に答申され必要な手続きを経て決定、処理されるものとする。

(組織)

第4条 委員会は、委員長、副委員長及び委員をもって組織する。

(委員長)

第5条 委員長は、東京大学大学院総合文化研究科副研究科長選考内規第7条第2号に規定された区分から選出された副研究科長をもって充てる。

(委員)

第6条 委員は、次の各号に掲げる者とする。

- (1) 副研究科長（事務部長を含む） ~~2~~3名
- (2) 専攻（広域科学専攻を除く）及び系から選出された者 各1名
- (3) 後期課程学科から選出された者 各1名
- (4) 駒場図書館長
- (5) 大学院総合文化研究科図書館長
- (6) 大学院数理科学研究科から選出された者 1名
- (7) 駒場キャンパス計画室駒場地区部会長
- (8) その他委員会が必要と認める者 若干名

(作業部会)

第7条 委員会に、必要に応じて作業部会を設けることができる。

2 作業部会の運営に関し必要な事項は、委員会が別に定める。

(庶務)

第8条 委員会の庶務は、事務部経理課において処理する。

(補則)

第9条 この規則に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は委員会の定める

(案)

ところによる。

附 則

この規則は、平成16年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成24年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、令和4年 月 日から施行し、令和4年4月1日から適用する。



2023年度 教養学部前期課程 授業等日程

◆4月～8月 授業等日程

●授業期間	4月5日(水) ～ 8月2日(水)
●授業休止日	5月26日(金) 午後：五月祭準備のため
●祝休日等利用日	6月3日(土) 全日：S1ターム定期試験予備日
●その他	4月12日(水) 全日：東京大学春季入学式

【セメスター科目】

◎授業日（Sセメスター）

※6/1、6/2はセメスター科目の授業はなし

		第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回	第11回	第12回	第13回
月曜日	AM	4/10	4/17	4/24	5/1	5/8	5/15	5/22	6/5	6/12	6/19	6/26	7/3	7/10
	PM													
火曜日	AM	4/11	4/18	4/25	5/2	5/9	5/16	5/23	6/6	6/13	6/20	6/27	7/4	7/11
	PM													
水曜日	AM	4/5	4/19	4/26	5/10	5/17	5/24	5/31	6/7	6/14	6/21	6/28	7/5	7/12
	PM													
木曜日	AM	4/6	4/13	4/20	4/27	5/11	5/18	5/25	6/8	6/15	6/22	6/29	7/6	7/13
	PM													
金曜日	AM	4/7	4/14	4/21	4/28	5/12	5/19	5/26	6/9	6/16	6/23	6/30	7/7	7/14
	PM							5/29						

○振替授業日	5月29日(月) 午後は、月曜日の授業は行わずに金曜日の授業を行う。
○補講日	5月29日(月) 午前 5月30日(火) 全日
	7月18日(火) 全日 7月19日(水) 全日
○定期試験	7月20日(木) ～ 8月2日(水) ※土・日を除く。8月2日(水) は予備日。

【ターム科目】

◎授業日（S1ターム）

週1コマ		第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回						
月曜日	AM	4/10	4/17	4/24	5/1	5/8	5/15	5/22						
	PM													
火曜日	AM	4/11	4/18	4/25	5/2	5/9	5/16	5/23						
	PM													
水曜日	AM	4/5	4/19	4/26	5/10	5/17	5/24	5/31						
	PM													
木曜日	AM	4/6	4/13	4/20	4/27	5/11	5/18	5/25						
	PM													
金曜日	AM	4/7	4/14	4/21	4/28	5/12	5/19	5/26						
	PM							5/29						
週2コマ		第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回	第11回	第12回	第13回
月・木曜日	AM	4/6	4/10	4/13	4/17	4/20	4/24	4/27	5/1	5/8	5/11	5/15	5/18	5/22
	PM													
火・金曜日	AM	4/7	4/11	4/14	4/18	4/21	4/25	4/28	5/2	5/9	5/12	5/16	5/19	5/23
	PM													

○振替授業日	5月29日(月) 午後は、月曜日の授業は行わずに金曜日の授業を行う。
○補講日	5月29日(月) 午前 5月30日(火) 全日
○定期試験	6月1日(木) ～ 6月3日(土) ※6月3日(土) は予備日。

◎授業日（S2ターム）

週1コマ		第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回						
月曜日	AM	6/5	6/12	6/19	6/26	7/3	7/10	7/24						
	PM													
火曜日	AM	6/6	6/13	6/20	6/27	7/4	7/11	7/25						
	PM													
水曜日	AM	6/7	6/14	6/21	6/28	7/5	7/12	7/26						
	PM													
木曜日	AM	6/8	6/15	6/22	6/29	7/6	7/13	7/20						
	PM													
金曜日	AM	6/9	6/16	6/23	6/30	7/7	7/14	7/21						
	PM													
週2コマ		第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回	第11回	第12回	第13回
月・木曜日	AM	6/5	6/8	6/12	6/15	6/19	6/22	6/26	6/29	7/3	7/6	7/10	7/13	7/20
	PM													
火・金曜日	AM	6/6	6/9	6/13	6/16	6/20	6/23	6/27	6/30	7/4	7/7	7/11	7/14	7/21
	PM													

○振替授業日	なし
○補講日	7月18日(火) 全日 7月19日(水) 全日
○定期試験	7月27日(木) ～ 8月2日(水) ※土・日を除く。8月2日(水) は予備日。

授業時間(90分)			授業時間(105分)			定期試験時間(90分)		
1時限	8時30分	～ 10時00分	1時限	8時30分	～ 10時15分	1時限	8時40分	～ 10時10分
2時限	10時25分	～ 11時55分	2時限	10時25分	～ 12時10分	2時限	10時35分	～ 12時05分
3時限	13時15分	～ 14時45分	3時限	13時00分	～ 14時45分	3時限	13時25分	～ 14時55分
4時限	15時10分	～ 16時40分	4時限	14時55分	～ 16時40分	4時限	15時20分	～ 16時50分
5時限	17時05分	～ 18時35分	5時限	16時50分	～ 18時35分	5時限	17時15分	～ 18時45分
6時限	19時00分	～ 20時30分	6時限	18時45分	～ 20時30分	6時限	19時10分	～ 20時40分

## 2023年度 教養学部前期課程 授業等日程

### ◆ 10月～2月 授業等日程

●授業期間	10月3日(火) ～ 2月10日(土)
●授業休止日	11月24日(金) 全日：駒場祭のため 11月27日(月) 午前：駒場祭片付けのため 1月12日(金) 全日：大学入学共通テスト準備のため
●祝休日等利用日	10月9日(月) 12月2日(土) 全日：A1ターム定期試験予備日 2月10日(土) 全日：Aセメスター/A2ターム定期試験予備日

#### 〔セメスター科目〕

##### ◎授業日 (Aセメスター)

※11/28はセメスター科目の授業はなし

		第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回	第11回	第12回	第13回
月曜日	AM	10/9	10/16	10/23	10/30	11/6	11/13	11/20	12/4	12/11	12/18	12/25	1/15	1/22
	PM													
火曜日	AM	10/3	10/10	10/17	10/24	10/31	11/7	11/14	12/5	12/12	12/19	12/26	1/9	1/16
	PM													
水曜日	AM	10/4	10/11	10/18	10/25	11/1	11/8	11/15	11/29	12/6	12/13	12/20	12/27	1/10
	PM													
木曜日	AM	10/5	10/12	10/19	10/26	11/2	11/9	11/16	11/30	12/7	12/14	12/21	1/4	1/11
	PM													
金曜日	AM	10/6	10/13	10/20	10/27	11/10	11/17	11/21	12/1	12/8	12/15	12/22	1/5	1/19
	PM													

○振替授業日	11月21日(火) は、火曜日の授業は行わずに金曜日の授業を行う。
○補講日	11月22日(水) 全日 1月17日(水) 全日 11月27日(月) 午後 1月18日(木) 全日 1月23日(火) 全日
○定期試験	1月24日(水) ～ 2月2日(金) ※土・日を除く。2月10日(土) は予備日。
○専門科目試験	2月5日(月) ～ 2月9日(金)

#### 〔ターム科目〕

##### ◎授業日 (A1ターム)

週1コマ		第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回						
月曜日	AM	10/9	10/16	10/23	10/30	11/6	11/13	11/20						
	PM													
火曜日	AM	10/3	10/10	10/17	10/24	10/31	11/7	11/14						
	PM													
水曜日	AM	10/4	10/11	10/18	10/25	11/1	11/8	11/15						
	PM													
木曜日	AM	10/5	10/12	10/19	10/26	11/2	11/9	11/16						
	PM													
金曜日	AM	10/6	10/13	10/20	10/27	11/10	11/17	11/21						
	PM													
週2コマ		第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回	第11回	第12回	第13回
月・木曜日	AM	10/5	10/9	10/12	10/16	10/19	10/23	10/26	10/30	11/2	11/6	11/9	11/13	11/16
	PM													
火・金曜日	AM	10/3	10/6	10/10	10/13	10/17	10/20	10/24	10/27	10/31	11/7	11/10	11/14	11/17
	PM													

○振替授業日	11月21日(火) は、火曜日の授業は行わずに金曜日の授業を行う。
○補講日	11月22日(水) 全日 11月27日(月) 午後
○定期試験	11月28日(火) ※12月2日(土) は予備日。

##### ◎授業日 (A2ターム)

週1コマ		第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回						
月曜日	AM	12/4	12/11	12/18	12/25	1/15	1/22	1/29						
	PM													
火曜日	AM	12/5	12/12	12/19	12/26	1/9	1/16	1/30						
	PM													
水曜日	AM	11/29	12/6	12/13	12/20	12/27	1/10	1/24						
	PM													
木曜日	AM	11/30	12/7	12/14	12/21	1/4	1/11	1/25						
	PM													
金曜日	AM	12/1	12/8	12/15	12/22	1/5	1/19	1/26						
	PM													
週2コマ		第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回	第11回	第12回	第13回
月・木曜日	AM	11/30	12/4	12/7	12/11	12/14	12/18	12/21	12/25	1/4	1/11	1/15	1/22	1/25
	PM													
火・金曜日	AM	12/1	12/5	12/8	12/12	12/15	12/19	12/22	12/26	1/5	1/9	1/16	1/19	1/26
	PM													

○振替授業日	なし
○補講日	1月17日(水) 全日 1月18日(木) 全日 1月23日(火) 全日
○定期試験	1月31日(水) ～ 2月2日(金) ※土・日を除く。2月10日(土) は予備日。

授業時間(90分)			授業時間(105分)			定期試験時間(90分)		
1時限	8時30分	～ 10時00分	1時限	8時30分	～ 10時15分	1時限	8時40分	～ 10時10分
2時限	10時25分	～ 11時55分	2時限	10時25分	～ 12時10分	2時限	10時35分	～ 12時05分
3時限	13時15分	～ 14時45分	3時限	13時00分	～ 14時45分	3時限	13時25分	～ 14時55分
4時限	15時10分	～ 16時40分	4時限	14時55分	～ 16時40分	4時限	15時20分	～ 16時50分
5時限	17時05分	～ 18時35分	5時限	16時50分	～ 18時35分	5時限	17時15分	～ 18時45分
6時限	19時00分	～ 20時30分	6時限	18時45分	～ 20時30分	6時限	19時10分	～ 20時40分

国際交流協定 覚書 更新実績報告書

提出年月日:

担当部局: 農学生命科学研究科

1.相手大学(機関)			
名称	日本語	ボン大学	
	英語	The University of Bonn	
	当該国語 ※任意		
地域/国名	ヨーロッパ	ドイツ	
設立年	1818	年設立	
設置形態	公立		
URL	<a href="http://www.uni-bonn.de/en/university/">www.uni-bonn.de/en/university/</a>		
組織及び規模(学部・研究所、学生・研究者の数等)	7学部、24研究所・研究グループ、教授561名、研究員4,479名、一般職員4,808名 学生約35,000名、うち外国人学生 約4,400名 年間予算 7億2,280万ユーロ(外部資金を含まず)		
相手国内における大学(機関)としての評価	ドイツ最古の総合大学の一つとして高い評価を受けており、特に自然科学・経済学・キリスト教学の分野で世界的な競争力を有する。国内外の70大学との間で学術交流了解覚書(MoU)を結んでいる。		
その他 (特色等があれば記入)			
2.更新理由			
ボン大学とは2016年2月に全学協定が締結され、同開発研究センター(ZEF)と本学農学生命科学研究科国際農業開発学プログラム(IPADS)を中心として活発な交流が続けられている。ボン大学からはコロナ禍を除き毎年5名程度の学生が来日してIPADSの学生とともに共同教育事業(座学、フィールドワーク、グループワーク)に参加している。またボン大で10月~1月に正規カリキュラムとして開講される博士課程向けの学際コースに、IPADSの学生が参加しており、昨年度もコロナ禍の中でIPADSの博士課程1年の学生が参加した。コロナ禍では、新領域創成科学研究科の教員と共にオンラインカリキュラム構築にも取り組んでおり、引き続き交流協定を更新する意義は高い。総合文化研究科と東洋文化研究所が合同で運営している東アジア藝文書院(EAA)はボン大学のInternational Center for Philosophy, Center for Science and Thought, Epistemology, Modern, and Contemporary Philosophyと共同で、Winter Institute 2022を昨年度に開催し、コロナ禍明けには対面でWinter Instituteを開催する予定である。			
3.協定の内容			
希望する協定の種類			
全学協定	関係部局: 農学生命科学研究科、総合文化研究科、東洋文化研究所、新領域創成科学研究科 協定名(日): 協定名(英): Memorandum of Understanding on Academic Exchange		
部局覚書	関係部局: 新領域創成科学研究科 協定名(日): 協定名(英): Student Exchange Agreement between Graduate School of Agricultural and Life Sciences and Graduate School of Frontier Sciences, The University of Tokyo and Center for Development Research, University of Bonn.		
交流分野			
農学、薬学、医学などの自然科学分野、歴史学、哲学、文学などの人文科学分野、経済学などの社会科学分野			
交流内容(該当するものに○)			
学生交流	<input type="radio"/>	講義、講演、シンポジウムの実施	<input type="radio"/>
教員・研究者交流	<input type="radio"/>	学術情報及び資料の交換	<input type="radio"/>
職員交流	<input type="radio"/>	その他	→( )
単位互換			
ダブル・ディグリー		→取得できる学位の種類:	
ジョイント・ディグリー		→取得できる学位の種類:	
共同研究	<input type="radio"/>		
受入に伴う奨学金支給			
授業料相互不徴収	<input type="radio"/>	→人数(年): 5人	[学部生/大学院生]

<b>4.これまでの交流実績、成果等</b>	
<p>ZEFとIPADSとの教育交流は、学生派遣としては、ZEFが毎年10月より開講する上述の学際コースへの農学生命科学研究科の学生の参加を行ってきた。一方で、ZEFとIPADSでは共同授業等を実施しており、毎年1回ZEFの学生・教員が来日しての1週間程度の共同教育事業、そしてZEFの教員によるIPADS新入生への集中講義を毎年実施してきた。コロナ禍でも交流は継続し、オンラインを活用した上記事業・講義の実施のほか、新たに“Online Development Studies and Research Community (ODSRC)”を共同で開始し、(1)オンライン相互講義の促進、(2)両大学・研究パートナー等による講義、ワークショップ(卒業生の講演)、(3)オンラインプラットフォームを利用したオンライン教育・研究コミュニティの確立に取り組んでいる。(1)、(3)については、昨年度より新領域創成科学研究科の教員も参画している。さらに、同教員はZEFが毎年、10月より実施するIntroductory Courseの2コマの講義を担当しており、その講義には新領域創成科学研究科の学生も昨年度より参加している。総合文化研究科と東洋文化研究所が合同で運営している東アジア藝文書院(EAA)はボン大学のInternational Center for Philosophy, Center for Science and Thought, Epistemology, Modern, and Contemporary Philosophyと共同で、Winter Institute 2022を昨年度に開催している。</p>	
<b>5. 更新後の交流計画</b>	
<p>これまでの活動、特にオンライン教育カリキュラムの充実化によって、対面・オンラインでの双方の学生交流をさらに加速化させる。特に、学生派遣や授業参加については、これまで農学国際専攻の学生が主であったものを、農学生命科学研究科の学生全体、さらには新領域創成科学研究科サステナビリティ学グローバルリーダー養成大学院プログラムの学生の参加も行っていく。またこれまでIPADSとZEFの教育・研究交流が主であったものを、今回より参画する総合文化研究科および東洋文化研究所が、ボン大学の別部局とそれぞれ部局間覚書を結ぶことによって、より幅広い分野での交流を目指す。東アジア藝文書院を中心に、コロナ禍明けには対面でWinter Instituteを開催する計画を立てている。</p>	
<b>6.更新までのスケジュール(担当部局承認予定日等)</b>	
<p>2022年8月 本部精査  2022年9月 スタッフ会議  2022年9月 専攻長施設長会議  2022年9月 教授会</p>	
<b>7.実施責任体制(組織、担当教員名及び構成メンバー等)</b>	
<p>責任者: 堤伸浩 農学生命科学研究科長  幹事教員: 岩田忠久 農学生命科学研究科国際交流室長  幹事教員: 山本光夫 准教授  幹事教員: 石原広恵 新領域創成科学研究科 准教授  幹事教員: 石井剛 総合文化研究科 教授  幹事教員: 中島 隆博 東洋文化研究所 教授</p>	
<b>8.相手側の対応組織(担当教員名等)</b>	
<p>責任者: Prof. Dr. Christian Borgemeister (Executive Director, Center for Development Research (ZEF))  幹事教員: Dr. Silke Tönsjost (Coordinator Doc Program, ZEF)  幹事教員: Prof. Dr. Markus Gabriel (Chair in Epistemology, Modern, and Contemporary Philosophy; Director of International Centre for Philosophy; Director of Center for Science and Thought)</p>	
<b>9.資金計画</b>	
<p>独立行政法人日本学生支援機構海外留学支援制度、農学生命科学研究科農学創発基金をはじめとした東京大学内(部局・本部)の奨学金制度の活用。</p>	
<b>10.同一校(機関)との交流の有無</b>	
<input checked="" type="checkbox"/> 有	協定の種類: 部局協定 締結年月: 2014年1月 担当部局: 薬学系研究科 (最終更新年: 年)
<input type="checkbox"/> 無	
<b>11.その他特記事項</b>	
<b>12.部局事務担当</b>	
部局名:	農学生命科学研究科
係名:	国際交流室
Email:	<a href="mailto:oice.a@gs.mail.u-tokyo.ac.jp">oice.a@gs.mail.u-tokyo.ac.jp</a>

**MEMORANDUM OF UNDERSTANDING  
ON ACADEMIC EXCHANGE  
BETWEEN  
THE UNIVERSITY OF TOKYO  
AND  
THE UNIVERSITY OF BONN**

The University of Tokyo (Japan) and The University of Bonn (Germany) (hereinafter referred to as the “**parties**”), in the firm conviction that academic exchange between the parties will promote academic research and other activities, hereby conclude the following **Memorandum of Understanding**.

**Article 1.** The parties agree to implement exchanges and other activities in areas of academic research of mutual interest through the following:

- (1) Exchange of faculty staff and administrative staff
- (2) Exchange of students
- (3) Collaborative research
- (4) Collaborative education
- (5) Exchange of academic information and materials.

**Article 2.** Actual projects to be implemented for the realization of specific programs as defined in **Article 1** shall be decided through discussion between individual departments of the parties and shall be laid down in separate written agreements between them.

**Article 3.** In the case that matters of intellectual property rights are expected to arise in the course of collaborative projects carried out under the terms of **Article 1**, the parties shall discuss in good faith and agree in a separate document, prior to the start of the collaborative project in question and in accordance with the policies of each party, the conditions regarding the treatment of intellectual property rights so arising.

**Article 4.** Any activities under or in connection with this MoU shall be subject to the applicable export control laws and regulations. Should it be found that this MoU or any project or activity thereunder violates any applicable export control law and / or regulation, this MoU shall be void. Materials, documents and equipment shall, in this case, be returned to the party where they or it originated from. Neither party has the right to incur damages or claim compensation of any kind for costs or expenditure incurred in connection with the necessary reversal.

**Article 5.** This **Memorandum** is valid for five years from the date of the final signature affixed below by the parties hereto (hereinafter referred to as the “term”). The term of this **Memorandum** may be extended upon agreement by the parties. Either party may terminate this **Memorandum** during its term by giving six months advance written notice to the other party.

**Article 6.** This **Memorandum** is created in duplicate in English, each of those duplicates being deemed original.

The parties hereby establish this **Memorandum** by duly signing it, as of the respective dates below.

The University of Tokyo

The University of Bonn

---

Prof. Dr. FUJII Teruo, President  
/ / 2022

---

Prof. Dr. Dr. h. c. Michael Hoch, Rector  
/ / 2022

令和4年7月28日

総合文化研究科国際交流・留学生委員会委員長  
筒井賢治 先生

農学生命科学研究科  
国際交流室長  
岩田 忠久

東京大学とボン大学との間における学術交流に関する協定の更新について

標記の件につきまして、本研究科では2016年に締結したボン大学との間における学術交流に関する協定を更新したいと考えております。つきましては、貴部局に関係部局としてご参画いただきたく、ご検討のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

ご協力いただける場合には別添の更新のための実績報告書（案）の「交流分野」「実施責任体制」「これまでの交流実績・成果等」「更新後の交流計画」欄にご記入下さいますようお願いいたします。また、別添の協定案については内容をご確認いただき、修正点等がございましたらお知らせください。なお、協定文案につきましては今後調整の過程で変更の可能性がりますことをご了承いただければ幸いです。

添付書類

更新のための実績報告書（案）

協定文案

連絡先：農学生命科学研究科国際交流室  
門間 麻紀（内線 28122）  
Email: oice.a@gs.mail.u-tokyo.ac.jp